

ルート―迷路における浮島の存在

横山拓也

※必須事項

舞台センター後方に高さのある台を設置。

登場人物

パネルが舞台上に入ってくる。

・小倉真弓「まゆみ」3年生。卒業旅行に行きたくない派

場面の数だけ（13場）パネルが必要で、ラストシーン

・遠藤宏美「ロミ」3年生。沖縄派。元バトミントン部キャプテン

では、台の上から見ると、巨大迷路のようになる。それを撮

・長谷川敬子「ハセド」3年生。北海道派

影して、リアルタイムでスクリーンに映し出す。

・岡山潤「じゅんちゃん」3年生。どっちでもいい派。乗り物に弱

い

・宇野加奈子「かなちゃん」2年生。バトミントン部所属。遠藤の

春。期末テストなんかも終わって、市立石崎山高校も春休み

後輩

に入った。卒業を間近にした3年生はそれぞれの進路が決ま

・熊沢徹「クマセン」勤務一年目の非常勤教師

り、バイトしたり、教習所に通ったり、卒業旅行に行ったり

…。

旧3年1組の小倉（まゆみ）、遠藤（ロミ）、長谷川（ハセド）、岡山（ジュンちゃん）の4人は「卒業旅行どこに行く？」の話を持ちきり。

戦いは遠藤が推す沖縄と長谷川が推す北海道。それぞれがそれぞれの主張を通している。

【1】

舞台は旅行先のイメージから。

広大な大地に櫓のような建物がひとつ建っている。そこは北海道か沖縄か。

明かりが入ると、遠藤と長谷川が大の字になっている。岡山は身体を「くの字」に折って安静にしている。

遠藤と長谷川、同時に大きく息を吐いて、

遠藤　暑いなあ。

長谷川　寒いなあ。

2人、ガバッと起き上がり。

遠藤 暑い。

長谷川 寒い。

遠藤 「寒い」はおかしいでしょ。

長谷川 なんでも。

遠藤 沖縄だよ。

長谷川 北海道でしょ。

遠藤 はあ、まだ言つか。

長谷川 見てよ、この遥かなる大地。あ、キタキツネ！

と、手を振る。

遠藤 いないから。

長谷川 いるよ。

と、無邪気に手を振る。

長谷川 ルールルル…

遠藤 いやいやいや。

キツネが寄ってきたらしい。

長谷川 あ、ちょっと、くすぐったいって。(じゃれて) おー、よしよしよし。

遠藤 いないって。

長谷川 いるじゃん。(と、指して)

遠藤 いないし、だいたい沖縄にキツネって似合わないでしょ。

長谷川 いや、ここ北海道だから。(キツネに対して) はいはい、どこから来たんでちゆか？

と、チューしよつとする。

遠藤 （呆れて）どうでもいいけど、キタキツネってエキノコックスっていう寄生虫もってるから、そついうことしない方がいいみた
いだよ。

長谷川 え？ エキノ…なに？

遠藤 エキノコックス。感染したら死に至る場合もあるんだって。

長谷川 マジで？

と、キツネを突き飛ばす。

遠藤、そのキツネに対して、

遠藤 おいで！

寄ってくる。

遠藤 おお、よしよしよしよし。

長谷川 ちょっと、寄生虫いるんでしょ。

遠藤 守り神だから。

長谷川 は？

遠藤 シーサーだから。

長谷川 何それ。

遠藤 沖縄と言えはシーサーでしょ。ほら、お手。

長谷川 お手とかしない。シーサー、ライオンでしょ。ていうか、こゝ沖縄じゃないし。

遠藤 沖縄です。

長谷川 それ、どう見てもキタキツネじゃん。

遠藤 長谷川に猫騙し。

長谷川 何？

遠藤 化かされちゃダメだ。気をしっかり持って。

長谷川 あんたに言われたくない。

岡山 ねえ、ちょっと静かにしてくんない？

遠藤 あ、ジュンちゃん。

岡山 うえ、気持ち悪い。

長谷川 青函トンネルがきつかったんだね。

遠藤 さっき乗ったグラスボートがきつかったんだね。

長谷川 そんなの乗ってない。

遠藤 乗った。かわいいお魚さん、いっぱい見れて楽しかったじゃん。

長谷川 何「お魚さん」て。

遠藤 エメラルドグリーンの海に泳ぐ色鮮やかなお魚さんたち。

長谷川 ああ、函館の朝市で食べた海鮮丼に入ってた魚介？

遠藤 違う。魚介って言わないで。

岡山 うえええ。

長谷川 ああ。

岡山 食べ物の話とか。

長谷川 ごめん。

岡山 ああ、地面が揺れる。

遠藤 大地の怒りを抑えたまええ！

長谷川 シーサーにそんな力ない！

櫓に小倉がいる。遠藤 それに気づいて。

遠藤 あ、まゆみ！

小倉は視線を合わせてこない。

遠藤 まゆみ。

長谷川 どう？ 時計台からの眺めは？

遠藤 どう？ ひめゆりの塔からの眺めは？

長谷川 ちよつと。

遠藤 何？

長谷川 ひめゆりの塔ってそんな登ったりするやつじゃないから。

遠藤 そんなの時計台だって一緒じゃんか。

長谷川 じゃあ、まゆみが登ってるのは何なの？

遠藤 まゆみに聞いてよ。

と、2人櫓を見上げる。もう小倉の姿はない。

遠藤 まゆみ？

岡山 うええ。

長谷川 ああ。

遠藤 トイレで吐いてきたら。

長谷川 うん、その方が楽になるかも。

岡山 トイレどこ？

遠藤 え？ トイレ？ どこだろ。

長谷川 そんなの想定してないもんね。

岡山 うええ。

遠藤・長谷川 ああ。

櫓から男性（熊沢）の声。

熊沢 おーい！

遠藤、長谷川、声のする方を見る。

熊沢は櫓の上からビデオを回している。

長谷川 誰？

遠藤 先生？

長谷川 先生？

遠藤 バドミントン部顧問のクマセン。

長谷川 なんで先生が卒業旅行について来てんの？

遠藤 そんなの知らないって。

熊沢 おい、遠藤。ピースしろ。

遠藤 ピースって。

岡山 うええ。

遠藤 ああ、ジュンちゃんやばいんだった。先生、ジュンちゃん乗り物に酔っちゃって気分が悪いみたいですけど、トイレどこにあるか知りません？

長谷川 ちよつと、修学旅行じゃないんだから。

遠藤 だって。

熊沢 トイレならこの下にあるぞ。

と、櫓の下を指す。

岡山、熊沢の示したトイレに向かう。向かいながら、

岡山 うえええ。

遠藤 ジュンちゃん、トイレまで我慢。

岡山 うえええ。

と、トイレへ消えていく。

熊沢 トイレ、紙なかったけどな。

遠藤 ゲロするだけだから平気です。

熊沢 いるだろ、紙は。

と、後ろに持っているのか、取り出そうとする。

遠藤 いらないって。

熊沢 投げるぞ。

遠藤 ちよつと！

熊沢、紙を放り投げる。

それは垂れ幕で、芝居のタイトル「ルート……」と書かれている。

オープニング的な効果が入って、垂れ幕ハケ。

遠藤にメールの着信。

遠藤、メールを確認して、携帯をしまつ。

ポケットからボタンを取り出し、弄ぶように2回ほど放り上げる。

ポケットにしまい、その場を去る。

【2】

舞台はファーストフード店。市立石崎山高校近くにある地元的なファーストフード店。

ポテトを食べながら、テーブルに旅行雑誌を広げているのは長谷川と小倉。

長谷川 ね？ 断然北海道じゃない？

小倉 うん。

長谷川 春の北海道ってね、もうすごい空気も澄んでるし、大自然様様って感じで、もう最高なんだから。あと、魚介？ 海鮮丼とか

絶対おいしいし。それから、札幌ラーメンとかも食べてみたくない？

小倉 食べたことあるよ、札幌ラーメン。

長谷川 え、まゆみ北海道行ったことあるの？

小倉 ないけど、駅前にあるラーメン屋で。

長谷川 全然ダメ、そんなの。本場で食べなきゃ。

トイレの流れる音がして、岡山が出てくる。

長谷川 あ、ジュンちゃん大丈夫？

岡山 うん。

小倉 なんでチャリの二人乗りで酔うわけ？

岡山 ごめん。

長谷川 しょうがないじゃん。ジュンちゃん基本徒歩なんだから、慣れてないんだよ。

小倉 でも、ジュンちゃん四月から専門学校どうやって行くの？

岡山 え？

小倉 歩いていける距離じゃないでしょ。

岡山 うん。一人暮らしするかもしれない。

小倉 いやいや、一人暮らしするほどは離れてないし。

長谷川 ま、いいから、ちょっとジュンちゃんも座んなよ。

岡山 うん。

と座る。

長谷川 ジュンちゃん、本場の札幌ラーメン食べたくない？

岡山 口に手をあてて気持ち悪そうな表情。

岡山 いま食べ物の話とか。

長谷川 ああ。

小倉 でも正直、札幌ラーメンでは弱いよね。

長谷川 わかってるよ。北海道の実力はそんなもんじゃないよ。

と、雑誌をペラペラめくって、

長谷川 ほら、見て。この素晴らしい景色。

岡山 あ、すごい。

長谷川 でしょ？ 北海道の湖はね、それはもうきれいなんだから。

岡山 これ何湖って読むの？

長谷川 え？ …「ホラ・ジジイ・コ」かな。

小倉 洞爺湖（とうやこ）でしょ。

長谷川 あ、トウヤコ。うん、トウヤコ。

そこに、ファーストフード店の制服を着た宇野がゴミ袋を持って3人の前を通りかかる。

岡山 あ、カナコちゃん。

宇野 あ、ジュンちゃん先輩。

岡山 ここでバイトしてたんだ。

宇野 はい。あ、ハセドン先輩とまゆみ先輩も。

小倉 え？

長谷川 「え」って、ロミの後輩のカナコちゃんじゃん。

小倉 ああ。バドミントン部の。

長谷川 何回か会ってるでしょ。

小倉 そうだっけ。

宇野 まゆみ先輩ひどい。

小倉 ごめん。

宇野 あれ、今日宏美先輩は？

長谷川 ロミ、今日なんかあったっけ？

小倉 なんかバドミントン部の引継ぎとか言ってるけど。

宇野 あ、そっか。

岡山 あれ？ カナコちゃんいいの？

長谷川 ほんとだよ、バイトなんかしてて。

宇野 いいんです。宏美先輩のいない部活なんか。

岡山 ロミに怒られるよ。

長谷川 ていうかさ、サボってることロミに黙っててあげるから、ポテトなんかサービスしてよ。

小倉 セコ。

長谷川 何が。

小倉 ハセドン、着実にオバハン路線走ってるよね。

長谷川 うるさいな。

宇野 あ、私、ごみ捨てて来ないといけないんで。

岡山 あ、ごめん引き止めて。

宇野 また後で。

岡山 うん。

長谷川 あ、ちょっと待って。

宇野 はい。

長谷川 カナコちゃん、北海道いいと思わない？

宇野 なんですか、いきなり。

長谷川 北海道のことどう思う？

宇野 どう思うって言われても：寒いと思いますけど。

長谷川 は？ 違つ。寒いとかじゃない。

小倉 いや、寒いでしょ。

長谷川 寒くないって。

宇野 寒いですよ。

長谷川 寒くない。

宇野 寒いですって。

長谷川 なんてそういうネガティブなことを言っわけ？

宇野 ハセドン先輩が聞いてきたんでしょ。

長谷川 カナコちゃん、あんたは北海道の何を知ってるの？

宇野 なんてキしてるんですか。

小倉 ほんとだよ。

長谷川 北海道の何を知っているのか言いなさい。

宇野 ジュンちゃん先輩。(助けを請う感じで)

岡山 ハセドン。(諭す感じで)

長谷川 だって、北海道の悪口言っんだもん。

宇野 寒いって言っただけじゃんか。

長谷川 ほらまた。知ったような口利いて。

宇野 だって知ってるし。

長谷川 え？

宇野 私ら、修学旅行北海道だったから。

長谷川 あ！

岡山 ああ、そつだよ。カナコちゃんたちの代から修学旅行北海道になったんだ。

長谷川 そつだった。

岡山 私たち伊勢神宮だったのにね。

小倉 あれは素晴らしかった。

長谷川 どこが。

岡山 北海道、どこ行つたの？

宇野 えーっと、函館行って、で、札幌、あと、洞爺湖とか。

小倉 ホラ・ジジイ・コ行っただ。

宇野 え？

小倉 うっん。

岡山 ハセドン。そんな情報誌見るより、カナコちゃんから話聞いた方が早いんじゃない？

長谷川 だって寒いとか言っし。

小倉 寒いのは寒いでしょ。

岡山 でも、ほら、カナコちゃんたち行っただの2月でしょ。一番寒いときじゃん。3月の北海道は気温もちよつとは上がってるんじゃない？
ない？ ねえ？

宇野 ああ、そつかも。

岡山 ほら。

長谷川 じゃあさ、本場の札幌ラーメンどうだった？

宇野 札幌ラーメン？

長谷川 食べてないの？

宇野 食べました食べました。でも、駅前のラーメン屋のとそんなに変わらないかな。

小倉 やっぱり？

長谷川 違っ！ そんなはずない！

宇野 え？

長谷川 あんた、札幌まで行って何してんの。不甲斐ない。ちゃんと味わって食べた？

宇野 はあ。

長谷川 こんなファーストフードばかり食べてるから、頼りない味覚になるんだよ。わかってる？

宇野 なんで怒られてるんですか私。

岡山 ごめんね、カナコちゃん。

小倉 もっ行っていいよ。

岡山 うん、ほんとバイト中ごめん。

宇野 別にいいですけど。

長谷川 ロミに言っとかからね。

岡山 ハセドン。

長谷川 北海道の悪口言っただって言っとかからね。

小倉 そっち？

宇野 北海道、北海道って何なんですか？

岡山 卒業旅行。ハセドンが北海道行きたいって言うって。

長谷川 ジュンちゃんだって行きたいでしょ。

岡山 行きたいけど、ちょっと遠過ぎるよつな。

長谷川 遠くないって。飛行機で1時間ちよつとだよ。

宇野 え、卒業旅行って、いつものメンバーで行くやつですか？

岡山 うん。この3人と、あとロミと。

宇野 あれ、宏美先輩、沖縄行くとか言っていましたけど。

長谷川 は？

宇野 なんか、水着買いに行くの付き合わされたし。

長谷川 何それ。

宇野 ハイレグ。

長谷川・岡山 ハイレグ？

宇野 みんなをびっくりさせるって。

岡山 それはビックリする。

宇野 結局買わなかったんですけどね、定期的に売り場自体なかったんで。

長谷川 当たり前じゃん。海で泳ぐなんてスケジュールに入っていないし。

宇野 沖縄行って海入らないんですか？

小倉 まあ3月だからね。いくら沖縄でも時期尚早って感じじゃない？

長谷川 沖縄で話進めないですよ。北海道行くんですよ。

小倉 それはまだ決まっていって。

長谷川 なんて。

小倉 だって寒いし、札幌ラーメンだってしれてるし、洞爺湖も写真でなんとなくわかるじゃん。

長谷川 実際行ってみないと良さなんてわかんないって。

小倉 わかるよ。

長谷川 なんてそんなこと言うの？ 北海道の何が気に入らないわけ？

小倉 気に入らないとかじゃないけど。

岡山 それに、ロミも沖縄って言うてるんですよ。

宇野 うん。

長谷川 ロミとか関係ない。

岡山 あるでしょ。一緒に行くんだから。

長谷川 今のは撤回。でも、ロミだって絶対北海道行きたいって。

宇野 沖縄行く気満々でしたよ。ナハナ八言ってたし。

小倉 せんだみつお？

宇野 那覇でソーキソバ食べるって宣言してましたから。

長谷川 もう、なんでそんな自分勝手なこと言ってるのよ、ロミは。思わない？（と、岡山に）

岡山 ああ、どうだろ。

宇野 ハッと思い出して、

宇野 あ、ヤバイ！ 私バイト中だった。

岡山 ああ。

宇野 もう！

と、誰に不満をぶつけていいかわからない。

長谷川 「もう」って言われても。

岡山 ごめんね、引き止めたみたいになっちゃって。

宇野 ホントですよ。店長に怒られる。もう行きませう。

と、行きかけたところに。

長谷川 あ、カナコちゃんに宿題。

宇野 はい？

長谷川 ロミを説得しといて。北海道行く気になるように。

宇野 なんで私が。

長谷川 直の後輩でしょ。

宇野 だってもうそんなに会わないし。

長谷川 会に行かなきゃ思いは伝わらないよ。

宇野 なんですかそれ。

岡山 ほら、また長くなるよ。

宇野 あ、ヤバイ。さよなら。

長谷川 頼んだからね。

と、こみを持って走る。去り際に、

宇野 あ。(と、振り返る)

岡山 何？

宇野 卒業おめでとーいになります。

と、ペコリと頭を下げる。

岡山・長谷川 ああ、ありがとう。

宇野 じゃあ。

と、ようやく去る。

見送って、

長谷川 そうなんだよねえ、卒業しちゃったんだよねえ、私たち。

岡山 うん。

長谷川、岡山、それぞれため息をついて感慨にふける。

突如、長谷川、コブシを利かせて、

長谷川 ！この支配からの 卒業

岡山 え。(引く)

長谷川 ！この支配からの…

小倉 重いよ、「支配」とか。

長谷川、小倉を指差しながら、

長谷川 ヲ行儀よくまじめなんて 出来やしなかった 夜の校舎 窓ガラス壊してまわった
小倉 やってないやってない。

岡山 あれ、まゆみって尾崎好きじゃなかったっけ？

小倉 やめてよ。好きじゃないって。むしろ嫌いだし。

長谷川 ええ、好きそう。

岡山 うん。

長谷川 窓ガラス壊してまわってそう。

岡山 ああ。(同意)

小倉 どんなイメージよ。

岡山 だって、まゆみ3年なつてからよく授業サボったりしてたし。

長谷川 そっそう。それで、一人だけ四大だもんね。

岡山 要領いいんだもん、まゆみ。サボっても先生にはバレてなかったり。

長谷川 誘ってくればよかったのに。一人「支配からの卒業」気取り？

小倉 そんなじゃないって。

岡山 なんなら、卒業式だって途中からいなくなったでしょ。

長谷川 ああ。

岡山 サボって何してたの？

小倉 さあ。

長谷川 あ！ お主、もしや誰か意中の殿方と逢引きしていたのでは！

小倉 なにそれ。

岡山 ハセドン、オタク言葉使い過ぎ。

長谷川 ああ、憧れのハイスクール・ランデブー。

岡山 また、ランデブーとか。

長谷川 私さ、高校生活一応楽しかったけどさ、いっこだけ遣り残してることがあるんだよね。

岡山 なに？

長谷川 ラブよ、ハイスクール・ラブ。

岡山 ああ。

長谷川 全然恋してないもん、この3年間。私も授業サボって逢引きとかしたかったなあ。

小倉 してないから、逢引き。

岡山 まあハセドンは「合挽き200グラム」がお似合いだよね。

長谷川 何の憎まれ口よ。

岡山 ハセドン、ハンバーグ好きじゃん。

長谷川 好きだから何なの？

岡山 え？ 怒った？ ごめん、冗談。

長谷川 どんな冗談よ。

岡山 ごめん、怒るって思わなかった。

長谷川 ジュンちゃんはいいいね。彼氏いた時期もあったし。

岡山 そんなの一瞬じゃん。

そこに、ごみ捨てから戻った宇野が通りかかる。そのまま通り過ぎる。

長谷川 ちょっとちょっと。

宇野 もう、なんですか。

長谷川 カナコちゃん、恋してる？

宇野 その毎回脈絡のない問い掛け、やめてくれませんか？

長谷川 あ、それ先輩に言うセリフ？

宇野 店長に見られてたんですよ、さっきサボってたの。

長谷川 「サボってた」って、ちょっと立ち話してただけじゃん。

宇野 ここのバイト厳しいんですから。じゃあ。

と、行きかける。

長谷川 ああ、ちょっと待って、ちょっと待って。

宇野 何ですか？

ナフキンの紙が入ってる箱が空になっているのを指して、

長谷川 紙持ってきてよ。ほら、切れちゃってる。

宇野 もう。

長谷川 客のお願いだよ。

宇野 わかりましたよ。

長谷川 300枚くらいお願いね。

宇野 ナフキンのある倉庫の方へ。

長谷川 ねえ、カナコちゃんって彼氏いると思う？

岡山 いないんじゃない？

長谷川 即答。

岡山 だって、ずっとロミ一筋って感じだったじゃん。

長谷川 ああ！ そつ！ あの娘ハレンタインにロミにチョコレート渡してたんだ！

小倉 いるんだよね、ショートカットの先輩に憧れちゃうショートカットの後輩。

長谷川 はあ。女の先輩に恋するなんて、完璧損してる。

岡山 いいんだよ、それが楽しい年頃なんだから。

小倉 お、恋を知る女の発言。

岡山 ロミが卒業したらカナコちゃんだって変わるよ。

長谷川 私が男に目覚めさせてあげようかな。

岡山 ハセドンは他人の世話してる場合じゃないでしょ。

長谷川 かあ、出た。男の話になると上からモノ言っからなあ、ジュンちゃんは。

岡山 そんなことないって。

長谷川 ジュンちゃんさ、チヨロマツくんから第二ボタンとかもらったわけ？

岡山 もらわないよ、そんなの。

小倉 第二ボタンの風習っていまだにあるの？

長谷川 「風習」って古めかしい言い方やめてよ。あるよ。バリバリだよ。ねえ？

岡山 うん。でも、第二ボタンって、なんか屈辱的でイヤだけどね。

長谷川 屈辱的？

岡山 だって、「あなたの二番目の女でいいから付き合ってください」ってことでしょ？ そんな最初から一歩引いた立場を宣言するって、最悪じゃない？

長谷川 え？ 第二ボタンってそついう意味なの？

岡山 そつだよ。

小倉 違つてしょ。心臓に一番近い位置にあるから、とかそついう意味でしょ。

岡山 ええ？ そんな医学的な見解じゃないって。

小倉 医学の話なんてしてないって。

長谷川 ええ、どっちにしろスゴイじゃん。第二ボタンに意味あったんだ。じゃあさ、第四ボタンくらいになると胃腸に近づくわけじゃん？

小倉 うん。

だからどうというわけでもなく

長谷川 なんかスゴイよね。

小倉 「なんか」って何？

長谷川 いいの、なんかスゴいんだから。ジュンちゃんの方の意味で言ったら、四番目の女。もうインドだね。一夫多妻制だね。

岡山 あは、上手い！

小倉 上手くはないでしょ。

長谷川 で、なんでジュンちゃん、チョロマツくんから第二ボタンもらわなかったの？ 記念になるのに。

岡山 だって、もつとくくに別れてるし。二番目とか以前の問題だし。

長谷川 でもまだ好きなんですよ。チョロマツくんのこと。

岡山 かもしれないけど…、未練タラタラはイヤだもん。

小倉 卒業だしね。

岡山 そう。

長谷川 今度は専門学校ラブってか？

岡山 はい。

長谷川 はあ、恋に生きてるなあ、ジュンちゃん。私なんか第二ボタン欲しいと思う相手もいないってのに。ああ、恋してえ！

と、面倒くさそうに最後のポテトを口に放り込む。

小倉 恋する態度ではない。

長谷川 ほっといてください。

岡山 私、この卒業旅行でリセットするんだ、チョロマツくんのこと。

小倉 ふーん。

長谷川 あ！ 来た！ 北海道？

岡山 え？

長谷川 いいじゃん、失恋傷心癒しの旅！ 恋に破れた者は皆 北へ行くんだよ。

岡山 何それ。

長谷川、尾崎豊「卒業」の節回しで、「津軽海峡冬景色」の一節をどろどろ。

長谷川 っ凍えそうな カメメ見つめ 泣いていました 夜の校舎 窓ガラス壊してまわった

小倉 津軽海峡何景色？

岡山 むちゃくちゃだよ。

長谷川 決まりじゃん、北海道。行「う」！

と、立ち上がる。

岡山 え？

長谷川 行くよ。

岡山 今から？

長谷川 善は急げ！ ほら、まゆみも立つ。

小倉 ちょっとハセドン？

岡山 何の予約もしてないのに。

小倉 ていうか無理でしょ。

長谷川 は？ 違っよ。ロミを説得に行くの。もう私たち3人は完全に北海道モードなんだから。

小倉 え？

長谷川 ほら！ 学校行くよ！

と、カバンに雑誌をつめていち早く出て行く。

岡山 もっ。

と、小倉に視線。小倉 靴紐を結んで、

小倉 とりあえず行こっか。

岡山 うん。

と、二人、立ち上がってハセドンを追う。行きかけて

岡山 あ。

小倉 何？

岡山 カナコちゃんいいのかな？ 紙持ってきてもらってるのに。

小倉 いいじゃない？

岡山 ごめんね、カナコちゃん。

と、去って行く。

【3】

舞台は学校の体育館。

バドミントンコート。ネットを挟んで遠藤と宇野がバドミントンのラリーをしている。

しかし、羽はない。しばしラリー（のフリ）が続く。

宇野 宏美先輩、そろそろ答え出してもらえませんか。

遠藤 うん。

宇野 もっかなり待たされてるんですけど。

遠藤 いや、まだ気持ちの整理がつかないっていうか。

宇野 何ですか、気持ちの整理って。

遠藤 ほら、あの3人の目もあるし。

ラリー（のフリ）を中断して。

宇野 宏美先輩らしくないですよ。こんなのね、宏美先輩の気持ちひとつですよ。私はいつでもオッケーですからね。

遠藤 焦らさないですよ。まだはつきりしないんだから。

宇野 そんな風に行われると私の方が冷めちゃいますよ。もっ付き合っのちめしますよ。

遠藤 そんなこと言わないでよ。

ラリー（のフリ）再開。

宇野 いざとなると急に優柔不断になるからな、宏美先輩。

遠藤 だって、まだ沖縄って決まったわけじゃないさ。

宇野 そんなのね、「行きたい」って主張したもん勝ちですよ。

遠藤 そうかもしれないけど。

宇野 ほら、決めちゃいましょ。水着買いに行く日。

遠藤 うーん。

宇野 私だってそれ早く決めてもらってバイトのシフト決めないといけないんですから。

遠藤 ハセドンたちが「行きたいかわかんないなあ。

ラリー（のフリ）中断。

宇野 「那覇に行くんだ！ 那覇でソーキそば食つんだ！」って宣言しなきゃはいんですよ。

遠藤 那覇ね。

宇野 那覇ですよ。

遠藤 那覇かあ。

と、思いは南の方へ。

宇野 那覇那覇。

遠藤 那覇かあ。

宇野 突如！

宇野 届け！「の思い。

と、強くスマッシュを決めるフリ。

遠藤 おお！

と、やられたフリ。

宇野 那覇那覇言ってる場合じゃないですよ。この際、超刺激的な水着買っちゃって、みんなに見せびらかせば「私も買っ買っ」みた
いになりますって。

遠藤 そうかなあ。

宇野 なります！

宇野 架空の羽を拾って、どんどんスマッシュを打ち込む。

宇野 ハイレグ！ ハイレグ！ ハイレグ！

遠藤 そのスマッシュをまったく拾えず、

遠藤 おお！ ハイレグスマッシュ！

宇野 まだまだ！

と、ハイレグスマッシュとやらを打ちまくる。

遠藤 おお！ って、いつまでやらせるわけ？

宇野 クマセンが来るまで。（と、スマッシュのフリをやめて）

遠藤 ああ、クマセン何してんだろ。

宇野 私バイトの時間あるのになあ。

遠藤のメールに着信。携帯を取り出し、確認する。

遠藤 まだだ。

宇野 迷惑メールですか？

遠藤 ある意味ね。

体育館の二階らしき部分（櫓のところ）に、バドミントン部顧問の熊沢（クマセン）がいる。
とかいた。ビデオを回している。

熊沢 おーい。

2人、視線。

宇野 あ、クマセン。

熊沢 ヤッホー。

遠藤 何浮かれてんの？（宇野に）

宇野 さあ。

熊沢 ピースしろ。

宇野 スマッシュを熊沢に向けて打つ。

宇野 ハイレグスマッシュ！

熊沢 ピースしろ。

宇野 ちょっとは反応してよ。

遠藤 そういうのクマセンに望んでも無理でしょ。

宇野 （熊沢に）先生、私、時間ないんだけど。

熊沢 おお、すぐ行くから、ちょっと待ってろ。

と、降りてくる。

宇野 宏美先輩が卒業したら、クマセンの相手すんの私かあ。

遠藤 新3年カナコひとりだもんね。

宇野 憂鬱。

遠藤 がんばって。

宇野　ねえ、一生のお願い。宏美先輩、留年して。

遠藤　は？　あんたの一生のお願いで私の一生が台無しになる。

宇野　そこをなんとか。

遠藤　なるわけないでしょ。

熊沢が降りて来た。

熊沢　ピースしろよ。

遠藤　もう、『ピース』ってなんですか。

熊沢　こうだろ、こう。

と、チョコキを作る。

遠藤　わかってますよ、手の形とかは。

宇野　なんでピースさせるのかってことでしょ。

熊沢　盛り上がるだろ。

宇野　盛り上がらないから、全然。

熊沢、ピース。

遠藤　で、今日は何なんですか？　呼び出して。

宇野　1年は？

熊沢、ピース。

宇野　だから盛り上がらないって。

熊沢　ヤバイぞ。

遠藤　何がですか。

熊沢　（ピースのまま）二人になった。

遠藤　え？

熊沢 部員、二人になった。

遠藤 は？

熊沢 遠藤が卒業しちゃったのに合わせて、1年みんなやめるらしい。

遠藤・宇野 ええ！

熊沢 お前ら二人になっちゃった。

遠藤 は？ 「なっちゃった」じゃないですよ。どうするんですか？

熊沢 どうしよ。

宇野 ていうか、宏美先輩卒業してるんだから、実質私ひとりじゃん。

熊沢 頼む、遠藤。留年してくれ。

遠藤 しません。

熊沢 宇野の人望がここまで薄いとは思ってなかった。

宇野 私のせい？

熊沢 宇野一人になっちゃうんだよ。

宇野 やめてよ。そんなだったら私もやめるって。

熊沢 おい！

宇野 無理だよ、クマセンと二人なんか。

遠藤 ちよっと待って。とりあえず来週の引継ぎに1年呼んで、ちゃんと説得しよ。

宇野 嫌ですよ。私人望ないし。

遠藤 このままだったら廃部になっちゃうんだよ。

宇野 そんなこと言ったって。私だって宏美先輩がいないバト部なんてって思いますし。

遠藤 カナコ。

宇野、腕時計に目をやって。

宇野 あ、私バイト行かなきゃ。

と、カバンを拾って出て行くとする。

遠藤 カナコ。

宇野 宏美先輩、ハイレグの日、決まったらメールくださいね。

と、去って行く。去るカナコの背中に、

熊沢　ちゃんと引継ぎ来いよ！

2人きりになる遠藤と熊沢。変な間ができる。

熊沢　遠藤。

遠藤　とつさに身構えてしまっ。

遠藤　私、ちょっとトイレ。

と、逃げるようにトイレへ。熊沢もちよつとして遠藤の後を追っ。

【4】

舞台は学校の女子トイレ。

個室に閉じこもっている岡山。

個室の扉の向こうには遠藤がいるらしい。

卒業式の後。制服の胸には花が挿してあり、手にはそれぞれ卒業証書を持つ。

遠藤　ジュンちゃん、そろそろだよ。

岡山　待って。

遠藤　早くしないとチヨロマツくん帰っちゃうよ。

岡山　ああ。「2番目でもいいので付き合ってください。」

ぐちゃぐちゃの告白の練習さっ。

遠藤　いいじゃん。それで。

岡山　ダメ。まだ心の準備が。(想像しただけでえづいてしまっ)　うえ。

遠藤 緊張し過ぎだつて。

岡山 うええ。

遠藤 もう、それがダメなんですよ。そんなじやまた同じだよ。

トイレから出てくる。

岡山 言わないで。

遠藤 じゃあ耐えなきや。

岡山 あのことかと思ひ出しただけで…

と、口を手を当てる。

遠藤 もう同じ気にしてないって。

岡山 そんなことない。

遠藤 でも確かめてないんですよ。

岡山 当たり前じゃんか。そんなことできるわけないでしょ。

遠藤 確かめなきやわかんないじゃん。

岡山 結果は見えてるもん。

遠藤 マイナス思考なんだから。

岡山 じゃあロミは初デートで彼氏にゲロぶちまけられたらどうする？

遠藤 引く。

岡山 でしょ？ 引いて、嫌いになって、友達に言いふらして、笑いものにして、ゲロジュンとか呼ぶんですよ。

遠藤 呼ばないから。

岡山 ああ、やだよ。ジェットコースターなんか乗らなきやよかった。

遠藤 自転車も乗れないのに、無謀だよ。

岡山 だって、チヨロマツくん、すごく楽しそうだったんだもん。

遠藤 でもさ、その事件から3ヶ月以上経ってるけど、全然噂になんかかってないじゃん。ハセドンもまゆみも知らないんだよ。実際チヨロマツくんが誰かにそんな話した形跡だってないわけじゃん。

岡山 当然じゃん。チヨロマツくん優しいもん。

遠藤 そんな優しいチヨロマツくんがそんなことで嫌いになんかならないって。

岡山　でもあの後何も言ってきたくないし。

遠藤　卒業証書の筒でポコンと岡山の頭を叩く。

岡山　イナ。

遠藤　まだジュンちゃんそういつに言っ。

岡山　え？

遠藤　ジュンちゃんが悪いんだよ。あの後すぐに謝りに行くなり、何なりすればよかったのに、ほつといたりするから。

岡山　ほつといたんじゃないよ。合わす顔がなかったんじゃないか。

遠藤　そんなのチョロマツくんの方がかわいそっだよ。チョロマツくんから優しい声でも掛けてくれるって思ってたわけ？　甘えるに
もほどがあるよ。チョロマツくんだって何て言っ方がいいかなんてわかんないよ、そんなの。

岡山　…ロミ。

遠藤　はい。説教終わり。行っ。

岡山　待って。

と、トイレに戻って、

岡山　うええ。

遠藤　あーあ。

個室から出てきて、

遠藤　ジュンちゃん、そんだけ哀しい思い出がありながらも一回告白しようって思っのは、相当好きなんだね。

岡山　好きだあ。

遠藤　じゃあ早く行っ。

と、引っ張るが、トイレの方にしがみつく。

岡山　でも。やっぱりダメ。

遠藤　あのさ、月並みなことしか言えないけどさ、今日で卒業なんだよ。ここって言わなかったら一生後悔するよ。

岡山 うう。これ以上傷つきたくない。

遠藤 自分で巻いたゲロでしょ…タネでしょ。ほら、行くよ。

と、手を引く。

岡山 ああ。

岡山、手を引かれながら、

岡山 「2番目でいいので付き合ってください」

と、行きかけたところに長谷川。

長谷川に押し戻される感じで、遠藤、岡山、再びトイレへ。手にはカメラ。

長谷川 もう、探したじゃん。

遠藤 ハセドン。

長谷川 卒業式に一人にしないでよ。寂しいじゃん。寂しすぎんじゃん。

遠藤 こめんって。

長谷川 まゆみも当然のようにいないし。

遠藤 ああ、まゆみ、卒業式途中で出て行ってた。

長谷川 また？ まあいいや。ほら、笑って！ (とカメラを構えて) はい、チーズハンバーグステーキ・イン・びっくりドンキー！

と、シャッターを切る。

笑えない二人。

長谷川 固い！

遠藤 タイミング取れない。

長谷川 もう一枚いきまーす。

遠藤、岡山を気にして遮るように、

遠藤 ごめん、ハセドン、ちょっと行くと「あって」。

長谷川 え、何なに？ 私も行く。

遠藤 ごめん、ちょっと込み入ってさあ。

誇張したモノマネ口調で、

長谷川 「ごめん、ちょっと込み入ってさあ、なにそれ。」

遠藤 ハセドンこそ何？ その悪意あるオウム返しは。

長谷川 だって私のこと除け者にしようとするんだもん。

遠藤 違っよ。

長谷川 じゃあ私も行く。

遠藤 ハセドン関係ないから。

長谷川 ええ！ ショック！ 私に関係ない場所ってなに？ うわ、ショックウ。

遠藤 もう、時間ないんだよ。

岡山 もついいじゃん。卒業式にケンカとかやめようよ。

遠藤 ジュンちゃん。

岡山 写真撮ってあげる。貸して。

長谷川 あうん。

と、長谷川のカメラを借りる。

しばし、カメラを眺めて。

岡山 何これ。デジカメじゃない。ていうかでかい。

長谷川 しょうがないじゃん、お父さんのなんだから。

岡山 かわいくない。

長谷川 関係ないでしょ、そんなの。撮れたらいいの。

岡山 せめてプリクラ貼ってあげる。

と、ポケットをまさぐる。

長谷川 やめてよ、お父さんのなんだから。

遠藤 ジュンちゃん、私ちよっと行ってくるね。

岡山 え？

長谷川 そつはさせない！

と、入口側を塞ごうとする。

遠藤 もう、違つて。バト部の後輩に挨拶してゐただけだよ。

長谷川 本当？

遠藤 ジュンちゃん置いてくから。

長谷川、岡山を凝視し、

長谷川 行つてよし。

と、関所を開門する。(イメージ)

遠藤 ありがとうございます。

岡山 ロミ。

遠藤、目配せで「任せておいて」の意。

遠藤、走って出て行く。

長谷川 ほら、ジュンちゃん撮つてよ。

と、ポーズを取る。

岡山 あうん。

岡山、遠藤の行き先を気にして、上の空でシャッターを切る。

長谷川　ちょっと！ど「撮ってるの！」

岡山　あ、「めん。」

長谷川　貸して。

と、カメラを奪い返し、

長谷川　はい、行くよ。はい、チーズバーグディッシュ・イン・びつくりドンキー！

しかし、岡山は上の空。

長谷川　ちょっとお。

場転。

屋上（櫓）で空を見ている小倉がいる。

飛行機が上空を飛んでいく。

おもむろに答辞を読むように語る。

小倉　聞きたくもないことを聞いてしまったり、見たくないが見えてしまったり。いや、霊の話とかじゃなくて。もっこれ以上知識

を得ることは私を不幸にするだけのように感じて。

だいたいわかるし、だいたいわかることを上塗りみたいに体験したって虚しいだけだから。

空は青いままで良かったし、飛行機はすごい乗り物のままで良かったのに。

色んなことに理由があるってのはよくわかったし、「この世を微分していくと、全部原子なんだ」っていう話なんか偉そうにされても困るし。

「人生に固有の意味とか目的なんかない」みたいな、そんな哲学の話じゃなくて、そんな無力感を訴えてるんじゃないで。

もっとシワっと生きていきたい。「いつの間にか空の色が変わってる」みたいに生きていきたい。

前向きでもなくて、後ろ向きでもなくて、なんだかわかんないまま、私は卒業していきます。

【5】

とあるスポーツ店のフィッティングルーム前。

宇野がいくつか水着を手に出している。試着室の中では遠藤が水着を試着している模様。

試着室の中から声。

遠藤 これ絶対ヤバイ。

宇野 え？

扉がちよこっただけ開いて、遠藤が顔を出す。スイムキャップなんかかぶったりしてて。

遠藤 競泳用とかおかしくない？

宇野 だってしょうがないじゃないですか。季節的に水着売り場なんかないもん。

遠藤 沖縄だよ。

宇野 その帽子とかは好きで被ってるんですよ。

遠藤 この本気で競泳みたいなスタイルはどうなの？ 沖縄に行く次期短大生としては。

宇野 かつこいいと思いますよ。できるだけレッグの高いやつにしたし。

遠藤 かつこいいか？ ヴラインとかとんでもないことになってるし。

宇野 パンツはみ出てもすもんね。

遠藤 見るな。

宇野 じゃあ、こっち着てみます？

遠藤 いいよ、もう。

宇野 良くないですよ。

遠藤 どれも一緒だって。ハイレグ却下。ハミパンかつこ悪いって。

宇野 せめてパンツ脱いでくださいよ。

遠藤 バカ。

宇野 手伝ってあげますよ。

と、フィッティングの中に入ってくる宇野。

扉が閉まる。

遠藤 バカ！ カナコ！

宇野 怖くない、怖くない。

遠藤 ちよつと、やめて！

宇野 宏美先輩！

遠藤 キャー……！

【6】

そこはナガシマスパーランド。想像の世界。

ホワイトサイクロンに乗る長谷川、岡山、遠藤。

ジェットコースターは縦横無尽に疾走する。

遠いところから小倉が見ている。

長谷川 ウギヤーー！

岡山 うえええ！

遠藤 キャー……！

と、それぞれ悲鳴やら嗚咽やら歓喜の叫びやら。

散々ジェットコースターは走り回り、ようやくゴール地点で「ガコン」とストップ。

みんな放心状態だったり、興奮状態だったり。岡山は当然のように、

岡山 うえええ。

遠藤 だからなんでジュンちゃんも乗るの？

岡山 だって。

長谷川 はい、トイレトイシ。

岡山 大丈夫。うええ。

遠藤 全然大丈夫じゃないじゃん。

長谷川 まゆみい。

長谷川、高いところにいる小倉に手を振る。

小倉 愛想で返す。

長谷川 まゆみも乗ろうよ。

小倉 いいよ、私は。

長谷川 なんで、ジュンちゃんだって乗ったのに。ほら、もう一回乗るよ。

岡山 もう一回は無理。

長谷川 何言ってるの。ジュンちゃんがナガシマスパーランド選んだんでしょ。ちゃんと責任とって楽しませてよ。

岡山 そんなこと言われても。

遠藤 ここまで来るハセドンの運転で死にかけてたもんね。

長谷川 免許取り立てなんだからしょうがないじゃん。

遠藤 散々拷問された後にホワイトサイクロンなんかジュンちゃんにしたら死刑執行だよな。

岡山 いっそ殺して。

長谷川 わかった。もう一回乗って殺してあげる。

岡山 やだ！

長谷川 もう、長島なんかこんくらいしか楽しめるもんないんだから。

岡山 私は、海の幸もあるし、大きいプールもあるしさ、北海道と沖縄のイトコ取りだと思って言っただけじゃん。

長谷川 全然中途半端、こんなの。

遠藤 折衷案なんか採用するべきじゃないね。

長谷川 本当だよ。

岡山 なんで？ 温泉もあるのに。

長谷川 地味！ 満足できない！ やっぱり卒業旅行なんだから、もっとバツとしたところの方がよかったんだよ。

遠藤 だから沖縄にすれば良かったんだよ。

長谷川 違っでしょ。北海道でしょ。

遠藤 沖縄です。

長谷川 北海道です。札幌です。

遠藤 那覇です。

長谷川 札幌です。

遠藤 ナハナハナハナハナハ。 (せんだみつお的に)

長谷川 もうキー……！

岡山 ちょっと、もうやめてよ。まゆみもこっち来てよ。

と、櫓を見るが、もう小倉の姿はない。

岡山 まゆみ？

そのとき、ジェットコースター乗降場に熊沢が登場。ビデオを回しながら、

熊沢 おい、ケンカすんな。

遠藤 先生。

長谷川 先生？

遠藤 バドミントン部顧問のクマセン。

熊沢 ピースだろ、ピース。

長谷川 なんで先生がいんのよ！

遠藤 知らないよ。

熊沢 遠藤、こっち来い。

遠藤 え？

熊沢 お前は引継ぎあるだろ。

遠藤 え？ 私、卒業旅行中なんですけど。

熊沢、突如ホイッスルを吹いて。

熊沢 発車します！

長谷川・遠藤・岡山 え？

「ガコン」と、ジェットコースターが急発進。

長谷川・岡山 キャー……！！

と、2人は行ってしまった。

見送って

熊沢　また2人になっちゃったな。

遠藤　「なっちゃったな」じゃないですよ。

【7】

舞台はバトミントン部部屋。

引継ぎの日。

熊沢　結局一年も来ないんだな。

遠藤　ですね。

熊沢　宇野もやめちゃうのかな。

遠藤　カナコ、多分バイト行ってるんですよ。

熊沢　そんなんだから一年の信頼が得られないんだよ。

遠藤　…あの、私、一年から聞き出して、原因がわかったんですけど。

熊沢　なんだ？

遠藤　言い辛いんですけど。

熊沢　言えよ。顧問として、宇野の悪いところは直してやらないと。

遠藤　いや、カナコじゃなくて、先生です。

熊沢　俺？

遠藤　そのビデオ。

熊沢　え？

遠藤　気持ち悪いみたいですよ。

熊沢　は？　なんだよそれ。

遠藤　練習中からずっと回してるでしょ。

熊沢　これは記念じゃないか。涙と汗、みんなの青春の1ページを、

遠藤　それが気持ち悪いんですよ。

ショックで言葉のない熊沢。

遠藤 ああ。

そこに、長谷川がダッシュで入ってくる。

長谷川 ロミ！

遠藤 ハセドン。

長谷川 北海道行くよ！

ちよつと間。

遠藤 今？

長谷川 今じゃない。

遠藤 え？ 全然わかんない。

続いて、小倉と岡山が入ってくる。

遠藤 あれ、まゆみとジュンちゃんも。

岡山 うええ。

遠藤 ちよつと？

再び自転車酔ったらしい。

小倉 はい、ジュンちゃんはトイレ。

岡山 うええ。

岡山、そのまま引き返してトイレへ。

遠藤 どうしたの？

小倉 チャリで酔っちゃって。

遠藤 それはなんとなくわかる。じゃなくて、三人そろってき。

長谷川 北海道推進派の三名が、お手を拉致しに参上した。

無視して、小倉に。

遠藤 何なの？

小倉 卒業旅行どこ行かかって話。

遠藤 ああ。

長谷川 雑誌を取り出して、

長谷川 見てよ、この悠然たる大地の恵み。ね？ ほら、これ何湖だっけ？

小倉 洞爺湖。

長谷川 トウヤコ。な？ 最高でしょ？

遠藤 ちょっと待ってよ。今それどこじゃない？

長谷川 それどこじゃない？ 北海道どこじゃない？ どっいう意味？

遠藤 そのままだよ。ちょっと外で待ってて、こっち片付いたらすぐ行くから。

長谷川 聞いたよ、ロミ。沖縄行きたいんだって？

遠藤 え？

長谷川 さっきドンキーでカナコちゃんから。

遠藤 やっぱリカナコ、バイトしてんだ。

長谷川 我々はロミを北海道に行くように説得する任務を負ってやってきたのだ。行くよ。

と、連れて出ようとする。

遠藤 待ってって。

長谷川 もう終わってんじゃないか。(部室を見渡すと、熊沢がいる) あ、先生いつの間に。

はじめて熊沢が目に入ったらしい。熊沢は落ち込んでいる。

遠藤 最初からいたでしょ。

小倉 終わってないの？ 引継ぎ。

遠藤 それがまだ始まったもなくてさ。引き継いでくれる人がいないって言うか。

小倉 ああ、そのカナコちゃんが来ないから？

遠藤 カナコだけじゃなくて、なんか一年とかもみんなやめるって言うてて。

小倉 へえ。一大事じゃん。

遠藤 そう思ってるんだったらもっと「一大事」っぽく言うてよ。

長谷川 そんなのもうロミに関係ないじゃん。卒業したんだから。

遠藤 そうも行かないでしょ。

長谷川 私たちが今力入れないといけないのは卒業旅行でしょ。

岡山が戻る。

遠藤 ああ、ジュンちゃん、大丈夫？

岡山 ピースで返すが顔は苦い。

小倉 ピースと顔が合っていないから。

「ピース」に反応して、熊沢が岡山にビデオを向ける。

長谷川 ちょっと、何撮ってんですか。

岡山 うええ。

と、またトイレへ。

熊沢 気持ち悪いのか、やっぱり。

遠藤 いや、先生、今のは違うから。

熊沢、トボトボと部室を出る。

遠藤 先生？ どこの行くの？

熊沢 テープ換えてくる。

と、出て行く。

遠藤 いや、全然懲りてない！

長谷川 何なの？

遠藤 クマセンのビデオが気持ち悪いから部員みんなやめるんだって。

長谷川・小倉 ああ。

と、熊沢が去っていった方を見つめて。

遠藤 今に始まったことじゃないのに。

長谷川 さ、今のうちに卒業旅行決めちゃうよ。

遠藤 だから、（バドミントン部の）を言おうって

とつさに遠藤の口を塞いで、

長谷川 沖縄とは言わせない。

遠藤 長谷川の手を払いのけて、

遠藤 違っって。今大変なの。バト部の存続がかかってるんだから。

小倉 カナコちゃんとかに任せられないわけ？

遠藤 その肝心のカナコがバイトなんかしてるわけでしょ。

長谷川 「店長に怒られるう」とか言っって。

遠藤 私だって怒ってるっつうの。なんか腹立ってきた。呼びつけてやる。

と、携帯を取り出し、プッシュ。

そこに、岡山が戻る。

長谷川 あ、ジュンちゃん。

岡山 ただいま。

長谷川 大丈夫？

岡山 私さ、これ完全に病氣だよね。

長谷川 うん。なんかとんでもない病魔に侵されてるんだよ。

小倉 ガンだよ。ガン。

岡山 ガン？

長谷川 ああ、ガンかも。末期ガンかも。

岡山 やめてよ。

遠藤 (舌打ちして) 留守電か。

長谷川 (岡山に) 留守番電話サービスセンターで治してもらいなよ。

岡山 え？

小倉 そんなガンセンターみたいな。

岡山 どこにあるの？

長谷川 北海道かな。

小倉 ウソだよ。

遠藤 留守電にメッセージを入れる。

遠藤 もしもし宏美ですけど、バイト終わったら部屋まで来ること。部長命令です。じゃあ。

長谷川 出た、部長命令。封建的い。

と、遠藤電話を切る。

遠藤 いいの。

長谷川 まあ、ちょっと座ろうよ。ていうかイスない。

遠藤 もう、やめてよ。とりあえずドンキーとかで待っててよ。

長谷川 待てないよ。火照っちゃってんのよ、こっちは。北海道の雪も溶かすくらいにや。

遠藤 ええ。北海道に決まったの？

長谷川 オフコース。

小倉 言ってるのハセドンだけだから。

長谷川 ちょっと！ 裏切るの？

小倉 裏切るって何？

長谷川 北海道推進派でしょ。

と、岡山の肩を組み、小倉の肩をも狙う。が、避けられ、

小倉 失恋傷心中のジュンちゃんは北に行く理由があるかもしれないけど、私にはないもん。

長谷川 あれだけ北海道北海道言ってたくせに。

小倉 それはハセドンでしょ。私は北海道なんて一回も言っていないし。

長谷川 うう！ 今言ったじゃん！

小倉 は？

長谷川 「私は北海道なんて一回も言っていないし」って、ほら！

岡山 ハセドン、子どもじゃないんだから。

長谷川 何さ！ いやあまゆみはどこに行きたいってのよ。

小倉 ええ？

長谷川 言いなさいよ。どこ行きたいか。

小倉 だって、別にないけど。

長谷川 ブルイじゃん、そんなの。私とかジュンちゃんみたいにちゃんと強い意志を見せてよ。

遠藤 ジュンちゃんは本当に北海道行きたいの？

岡山 え？ うーん…

長谷川 「うーん」じゃないでしょ。

小倉 強い意志を見せてよ。

長谷川 見せるよ、今。ほら、ジュンちゃん。言ってるん「トウヤコ行きたい。札幌ラーメン食べたい」って。

遠藤 封建的。

長谷川 リピートアフターミィ。「トウヤコ行きたい。札幌ラーメン食べたい」

岡山、黙ったまま。

遠藤 ジュンちゃん、嫌なら嫌って言わなきゃ。

長谷川 ロミは口出さないですよ。

遠藤 だって、これっていつものパターンじゃん。

長谷川 何、いつものパターンって。

遠藤 ジュンちゃん嫌なんですよ。

長谷川 ちょっとロミ。そういう持って行き方、汚くない？

遠藤 どっちが。

長谷川 何よ。

と、やや陰悪なムード。

岡山 もつやめてよ。「めんどって。

遠藤 ジュンちゃんが謝る「ごじやないですよ。

岡山 私は四人で仲良く行けるならどこでもいい。北海道でもいいし、沖縄でもいいし。最後の旅行なんだから、楽しく行「つよ。

長谷川 それはわかってるよ。みんな楽しく北海道に行くよ。それならいいんですよ。

岡山 うん。

長谷川 よし。

遠藤 ていうか、完全に卒業旅行話になってんじゃない！

小倉 何、いまさら。

長谷川 観念して話し合いに参加しなさい。とりあえずカナコちゃんが戻るまででも。

遠藤 もう。

岡山 でも確かに今決めないと予約とか取れなくなっちゃうかもしれないよね。

長谷川 そうそう。

遠藤 わかったよ。

長谷川 イスとかかないの？

遠藤 2つくらいならあるけど。

長谷川 おお、出せ出せ。

遠藤、奥から持ってくる。

遠藤が座り、当然のように小倉が座る。

長谷川 （小倉に） ちょっと。

小倉 なに？

長谷川 なんでもゆみが座るの？

小倉 あ、ごめん。

しかし、立つわけではない。

長谷川 「ごめん」の意味がわかんない。

小倉 あ、座りたいの？

遠藤 すぐ座りたがるのはオバハンだよ。

長谷川 私じゃないよ。末期ガンのジュンちゃんに譲ってやってよ。

岡山 私？

遠藤 まだそうやってジュンちゃんタシに使っ。

長谷川 うるさいな。じゃあ、ちようどいいよ。北海道派は起立願います。

岡山が中途半端な態勢になる。屈伸運動したり、中腰になったり。

長谷川 ジュンちゃん？

岡山 （話を逸らすように） ロミはどこ行きたいの？

遠藤 私？ 私は沖縄だな。

長谷川 ノー！ ノー・モア・オキナワ！

小倉 雰囲気で言い過ぎ。

長谷川 沖縄なんかダメだって。

遠藤 なんですよ。

長谷川 だって、電車で走ってないんだよ。

小倉 理由になってないし。

長谷川 まゆみうるさい。

小倉 どっちが。

岡山 なんでも沖縄がいいの？

遠藤 沖縄の海とか見たいじゃん。グラスボートって知ってる？ 舟の底がガラス張りになって、そこから熱帯魚とかサンゴ礁とか覗けるんだよ。

長谷川 でも、食べられないでしょ、その魚は。

遠藤 当たり前じゃん。

長谷川 北海道なんか魚介の宝庫だからね。

遠藤 論点が違っでしょ。グラスボートに鮭とかホタテはいらないの。

長谷川 そんなのつまんないじゃん。

遠藤 景色を楽しみます。

岡山 はいはい。喧嘩しない。

長谷川 あ！ 欠陥発見！

遠藤 え？

長谷川 グラスボートなんかジュンちゃん乗れないよ。ガラス張りのとこゼロゼロになるよ。沖縄却下！ ねえ？ ジュンちゃん。

岡山 ああ。

遠藤 大丈夫だよ。エメラルドグリーンの海が癒してくれるって。

小倉 それは無理だね。ジュンちゃんチャリで死んでるくらいだからさ。

長谷川 沖縄却下！

遠藤 そんなのどこ行くにしたってなんか乗り物乗って行くんじゃないか。

小倉 ああ、そうだよね。

と、岡山に視線。

小倉 どうすんの？ ジュンちゃん。

岡山 お遍路めぐりとかどう？

小倉 ああ、いいかも。

長谷川 良くない！ なんて女子高生が卒業旅行で四国八十八ヶ所巡るのよ。

遠藤 結局四国まではバスとか使うわけだしね。

長谷川 四国なんか行かないから。

小倉 交通機関使わないでどこか行くなって無理だよ。

遠藤 そうでしょ。だからグラスボートが沖縄却下の原因にはならないって。

小倉 ジュンちゃんって何なら乗れるの？

岡山 えー…（ちょっと思索して）おんぶ？

遠藤 有り得ない。

小倉 どこも行けないよこれ。

岡山 ごめんね、私のガンのせいで。

長谷川 北海道の留守番電話サービスセンターで療養しよう。

小倉 ないし、療養する場所でもないし。

遠藤 もっくんちゃんのゼロは有りってことだから、がんばってもぶっつかないよね。

長谷川 鬼太郎袋持参のこと。

岡山 はい。

小倉 ほんと一回病院行った方がいいよ。

岡山 うん。

遠藤 で、まゆみはどー行きたいの？

小倉 え、私？

長谷川 そうだよ。

小倉 だから、私は、別に。

遠藤 「別に」とかなし。

小倉 うーん。

岡山 まゆみ、行きたくないの？

小倉 そういわげじゃないよ。

遠藤 行きたいとこなんかあるでしょ。

小倉 ええ？

遠藤 ほら、伊勢神宮のときなんか珍しくテンション高かったじゃん。

小倉 あれは木とかすごかったもん。

遠藤 そっぴいのないの？

長谷川 伊勢とか嫌だからね。

遠藤 話の糸口としてでしょ。

小倉 うーん。「矢切の渡し」とか乗ってみたいかも。

長谷川 は？

小倉 渡し舟。

長谷川 何なのそれ。

岡山 また船？

遠藤 だったらグラスボートでいいじゃん。

小倉 全然違うよ。風情が。

長谷川 いらないって、女子高生に風情は。どうせ乗るならタイタニックみたいな豪華客船にしてよ。

タイタニックの主題歌セリーヌ・ディオンの「マイ・ハート・ウィル・ゴー・オン」をうろ覚えで熱唱してみる。

小倉 沈むじゃん。

長谷川 タイタニックは例え。

岡山 私、船が一番厳しいかも。

遠藤 でもさ、船だったらいくらでも海に吐けるじゃん。

岡山 そうかもしれないけど。

遠藤 魚だっていっぱい寄ってくるかもしれないし。

岡山 ああ、なるほど。

小倉 プラス思考にもほどがあるよ。

長谷川 でも、そういうフェリーで北海道行っていくのもいいかもね。安いし。

遠藤 また北海道って言う。

長谷川 そうだ。フェリーだったら車で行けるじゃん。北海道のあの長くてどこまでも続く道をドライブ！ いいじゃん。私それまでにがんばって免許取る。

遠藤 嫌だよ、初心者の運転で旅行なんか。

長谷川 何だよ。

そのとき、学校のチャイム（サイレン）が鳴る。

岡山 もう4時だ。

遠藤 カナコのバイトが終わる時間だ。

遠藤のメールに着信。携帯を取り出し確認。

岡山 カナコちゃん？

遠藤 うっん。(携帯をしまふ)

宇野が携帯で留守電を聞いている(櫓の上)。

「こちらは留守番電話サービスセンターです。お預かりしているメッセージは一件です。メインメニュー…(ビツ)『もしもし宏美ですけど、バイト終わったら部長まで来る』こと。部長命令です。じゃあ。出た、部長命令。封建的い』メッセージは以上です」

宇野 仕方なくといった感じで、学校へ向かう。

【8】

チャイムの音が汽笛に変わる。

舞台は船上。それぞれの船上。

遠藤は、船底のガラス窓で海中を覗いている。

小倉は權 (バドミントンのラケット)を持って渡し舟の船頭気取り。

岡山は当然のように船酔い。

長谷川は船首でタイタニックの例のシーンを想像している。

セリーヌ・ディオンをうろ覚えで熱唱中。

遠藤 ちょっとづるさいよハセドン。魚が逃げちゃうでしょ。

長谷川 誰かしお様やってよ。(岡山に)

岡山 うええ。

遠藤 ジュンちゃん、こっちで。(魚が寄ってくる)わー、クマノミ！ るりスズメダイ！

長谷川、岡山を諦めて小倉に、

長谷川 まゆみ。まゆみ。後ろからギョってやって。

と、再びセリーヌ・ディオンを歌いかける。

遠藤 ハセドン。

長谷川 まゆみ。

小倉 忙しいの。

と、櫂で漕いでいる。長谷川、その姿を見て

長谷川 掃除なんかなくていいって。

小倉 掃除じゃないよ。漕いでんじゃん。

長谷川 漕ぐって何よ。豪華客船だよ。

小倉 渡し舟だよ。

長谷川 は？

細川たかし「矢切の渡し」のヤマ部分をきくぞ。

小倉 ♪矢切の 渡し

長谷川、負けじとセリーヌ・ディオンで応戦。

小倉 ♪つれて逃げてみついておいでよ ♪タぐれの雨が降る 矢切の渡し

遠藤 うんをいって。

岡山 うええ。

まだ歌っている二人。

遠藤 もう、あっちでやってよ。

と、二人を押す。

長谷川 あああ！

と、長谷川、海に落ちそうになる。小倉の手をつかんで、

小倉 ちょっと！

長谷川・小倉　あああ！

「ポチャン」と、二人とも海へ。そのまま流されていく。(はける)

遠藤　やっと行った。

岡山　あー、気持ち悪い。

遠藤　大丈夫？

岡山　私やっぱり船無理だよ。

遠藤　うん。

と、背中をなすってやる。岡山、船底の窓に映る魚たちが見えて、

岡山　あ、すごい、魚。

遠藤　でしょ。癒されるでしょ。

岡山　うん。(しばらく見て)あ、でもずっと見てたらダメだ。うえ。

遠藤　ああ。もう目つむつとかな。

岡山　うん。

やや間をとって、遠藤。ポケットからボタンを取り出す。

遠藤　ジュンちゃん、これ、チョロマツくんの第二ボタン。

岡山　あ！　本当にもらってきてくれたんだ。

遠藤　うん。

岡山　ありがとう、ロミ。

と、起き上がる。

遠藤　うん。

岡山　チョロマツくん、なんて言ってた？　二番目ならつきあってくれとか言ってた？

遠藤　…いや。

と、口「もる」。

岡山、遠藤のその表情を読み取ってか、

岡山 あ、「ごめん。やつばいいや。思い出は思い出のままでいいや。この卒業旅行で吹っ切るんだし。」

遠藤 ジュンちゃん…。

岡山 あんまりいい返事じゃなさそうだし。本当ありがとね。一生大事に取っと。」

と、ポケットにしまい、空を見上げる。

遠藤 あのさ、ジュンちゃん。

岡山 ん？

遠藤 なんかさ、よくわかんないんだけど、チヨロマツくん勘違いしてるみたいだよ。

岡山 勘違い？

【9】

再び舞台は部屋に。

宇野が勢いよく飛び込んでくる。

(同じタイミングで熊沢もラケットなどを入れてあるダンボール箱と共に現れ、身を潜めてビデオを回す)

宇野 宏美先輩。

遠藤 カナコ。

宇野 まだ終わってないんですか、引継ぎ。

遠藤 カナコがいないと始まらないでしょ。

宇野 あれ、ジュンちゃん先輩。

岡山 や。(挨拶の「やあ」です)

宇野 学校来てたんですか。ていうか、ひどいですよ。紙持ってきてとか言っといて帰っちゃうんだもん。

岡山 ごめんごめん。

遠藤 私ちよっとクマセン呼んでくる。カナコ、待っててよ。

と、部屋を出ようとしたところに、長谷川が小倉を引き連れて入ってくる。

長谷川　ちょっと目を離すとどつか行くんだから、まゆみは。

小倉　トイレ行ってただけじゃん。

遠藤　もう、帰ったんじゃないの？

長谷川　本題から外れたから小休止しただけです。

岡山　なんかもう、最後の方なんか「タイタニック」か「矢切の渡し」かの言い合いしかしてなかったもんね。

長谷川　うん。

宇野　ハセドン先輩、紙いらなかったんですか？

長谷川　あれ、カナコちゃん。

宇野　頼まれてた紙、持ってきてたんですけど。

長谷川　紙？

宇野　これだもんね。

遠藤　カナコ来たんだから卒業旅行の話はとりあえず中断ね。

長谷川　ええ？

宇野　私、すぐ帰りますけど。

遠藤　ダメ。

と、箱の中からロープを取り出し、カナコに向かう。

宇野　何ですか？

遠藤　逃げないように縛っとく。

宇野　ちょっと。

遠藤　ハセドン手伝って。

長谷川　まゆみも一緒に縛っとくよ。

小倉　なんでよ。

長谷川　是が非でも話に参加させるからね。

と、強引に小倉と宇野を背中合わせにくっつける。

遠藤 そっち抑えて。

長谷川 うん。

小倉 ちょっと。

宇野 やめてくださいよ。

岡山 こういうときだけロミとハセドンのチームワークがスゴイ。

宇野 関心してないでくださいよ。で、なんでまゆみ先輩はさっさと観念してるんですか。

小倉 ちょっと楽しい。

宇野 そういう趣味？

縛り終えて。

宇野 ああ、イテテ。

遠藤 よし。じゃあ、行ってくる。

長谷川 どこ行くの？

遠藤 クマセン呼んでくるの。あ、関係ない人は帰ってよ。

と、ようやく出て行く。

長谷川 「関係ない人は帰ってよ」だって。まゆみをこんな状態にしといて。

岡山 ハセドンも共犯でしょ。

宇野 あ、お願いがあるんですけど、

岡山 何？

宇野 帰らないでもらえますか。

長谷川 言われなくても帰らないから。卒業旅行のこと決めるんだから。

宇野 良かった。部活の話とか、ほんとブルーになるんで。

岡山 バト部なんかあったの？

小倉 なんか一年全員やめちゃったらしいよ。

岡山 え、そうなんだ。

宇野 はい。だから、もうなんかいろいろ「気まずくて。

長谷川 その姿で何言っても緊張感ないね。

宇野 うるさいなあ。私、もう部活やめたいんだけどな。

岡山 そんなこと言ったらロミが悲しむよ。

宇野 だって、クマセンと二人は絶対無理だもん。

そのとき、後ろの箱が倒れる。みんなその音に反応する。

熊沢がビデオを持って現れる。

それぞれ悲鳴。

宇野 クマセン！

長谷川 ちよつと。

熊沢 宇野 やめないでくれよ。

宇野 絶対やめます。

熊沢 宇野。

長谷川 いつからいたの？

熊沢 え。

熊沢、微妙な音量でセリーヌ・ディオンを歌う。

その歌声にまたまた悲鳴。

長谷川 ていうか、何なんですか。そのビデオ。

岡山 やばいよね。

熊沢 だからみんなに迷惑かけないように隠れて撮ってたんだろ。

小倉 それが一番迷惑でやばい。

岡山 隠し撮りじゃん。

長谷川 このでかい体に気づかなかった私たちもショックだけど。

宇野 ね？ 絶対無理でしょ？

岡山 ねえ、ロミ呼んできた方がいいんじゃない？

長谷川 この画は確実に犯罪のにおいがするもんね。

熊沢 君たち、バドミントン部に入らないか？

長谷川 入るわけないでしょ。

宇野 何最悪のタイミングで勧誘してるんですか。

小倉 ていうか卒業だし。

熊沢 ああ。

岡山 ロミどこまで呼びに行ってたろ。

そこに、熊沢の携帯に着信。

熊沢、携帯を取り出すが、出ようとしない。

宇野 鳴ってるよ先生。

岡山 ロミじゃない？

留守電につながる。

アナウンス「留守番電話サービスセンターに接続します」

【10】

舞台は北海道にあるという留守番電話サービスセンターの一室。

熊沢 本日の診療時間は終了しました。なお、ガンの治療の受付は、平日午前9時から午後5時の間で受け付けております。よろしく
お願いいたします。

悪徳医師（熊沢）のいる同センターを訪れた面々は、卒業旅行最大のピンチを迎えていた。

という設定。一気に現実的な雰囲気を一層して、

長谷川 まゆみとカナコちゃんを返してよ！

熊沢 ダメですね。

長谷川 この二人はとも悪くないんだから。

熊沢 いえ、二人には当センターでの十分な療養が必要です。

長谷川 やめてよ。留守番電話サービスセンターは病気とか治すところじゃないでしょ。

岡山 ハセトンが言い出したんじゃないん。

長谷川 冗談に決まってるでしょ。まゆみ、すぐ助けるからね。

小倉 うん、助けて。(と、軽い感じで)

長谷川 もっと強く助けを求めてよ。

熊沢、 小倉を撮りながら、

熊沢 こちらの娘さんは、哲学的な背伸びが始まった、青年期特有の「虚無主義」への陶酔と懷疑の症状です。少し時間をかけて治療します。

長谷川 ちょっと。

宇野 (助けを懇願するように) 宏美先輩。

熊沢、 今度は宇野にビデオを回ける。

熊沢 こっちは、他人への依存が強く、自分の負った責任から逃げようとする逃避型の症例です。今のうちに治療を行わないといけません。

宇野 もう、何それ。

長谷川 治してほしいのはジュンちゃんのカンだけだってば。

岡山 いいよ、もう。

熊沢、 イスに腰掛けて、

熊沢 あなたは自律神経のバランスを失っているようです。どうせ「ちらへ」。

岡山 嫌だって。

熊沢、 岡山にビデオを構える。

岡山 撮らないでよ。

熊沢 治療の一環です。

岡山 もう。やめてよ。北海道最悪だよ。

長谷川 北海道のせいじゃないですよ。

岡山 ハセトンがこんなところ連れてくるからこんなことになったんですよ。

長谷川 ジュンちゃんを思ってたことじゃなか。

宇野 宏美先輩！（助けを求める叫び）

【11】

再々度、部室。

遠藤が電話をかけながら入ってくる。

岡山 ロミ。

遠藤 あ、先生戻ってたの？

熊沢 おお。

遠藤 電話かけたのに。

熊沢 ああ、ビデオ回してたからな。

遠藤 だからそれもう止めた方がいいですって。

熊沢、ビデオに視線。

長谷川 ロミ。もっとビシつと言わないとダメだって。隠し撮りみたいなことしてたんだよ、この先生。

遠藤 隠し撮り？

長谷川 校長先生とかに言った方がいいよ。

熊沢 ちょっと待て！ バッテリー切れそつだ。換えてくる。

と、出て行くようにする。

遠藤 先生。

遠藤の声など聞かずに出て行く。

遠藤 もう。全然ミーティングできない。

岡山 気持ち悪い。あの人。

遠藤 仮にもうちの顧問だよ。

長谷川 ダメだよ。バト部廢部にしてしかるべきだよ。あの顧問じゃ。

宇野 でしょ？

遠藤 カナコ。

宇野 宏美先輩。とりあえずこれ解いてくださいよ。縛られてる意味がわかんないし。

遠藤 逃げるでしょ。

宇野 逃げませんよ。

遠藤 絶対だからね。

と ロープに手をかけようとする。

長谷川 待つて。まゆみは逃げそつ。

小倉 逃けないよ。

長谷川 本当？

小倉 うん。

長谷川 じゃあ解いてよし。

小倉 何の決定権があるんだか。

遠藤がロープをはずすにかかる。

岡山 ねえ、結局どうやって決める？ 行き先。

長谷川 どうやってって。

岡山 今日中には決めたいよね。

長谷川 そりゃあね。

ロープが解け、

宇野 ああ、やっと解放された。

小倉はそのまま部室を出て行ってしまう。

長谷川　って、ちょっとまゆみ！　言ってるそばから！

小倉　トイレ行くだけじゃん。

長谷川　そっやっていつも帰ってこないでしょ。授業の時も。

小倉　トイレだよ。もれちゃうよ。

長谷川　（少し考えて）　偵察隊、ジュンちゃん号発進せよ。

岡山　え？

長谷川　ちゃんとトイレ行くか見張ってて。

岡山　あ、うん。

長谷川　その間に北海道と沖縄の戦いに決着をつけておくから。

岡山　え？　もっどつちかなの？

長谷川　そんなぐらいに絞らないと決まらないでしょ。ロミ、覚悟！

遠藤　こっちはミーティングあるんだってば。カナコ戻るまでの約束でしょ。

宇野　そんな約束だったんですか。

長谷川　顧問がいなくてできないでしょ。あの先生が戻るまでに決めるから。ていつか、もっどつちかなの？

遠藤　もっ。

長谷川　北海道VS沖縄！

岡山　私もいい案あるんだけどな。

長谷川　え？　ジュンちゃんが？

岡山　うん。

小倉がこっそり出て行っている。長谷川、それに気づいて

長谷川　あ、ジュンちゃん号！

岡山　あ、はい。

と、小倉を追う。

遠藤　ジュンちゃんの希望はどこなわけ？

岡山、振り返って、

岡山 ナガシマスパーランド。北海道と沖縄のイトコ取りだから、ちょっと候補に入れといて。…まゆみい。

と、出て行く。見送って、

長谷川 ナガシマスパーランド？

宇野 名古屋の方にあるやつですよ。海水プールとかある。

長谷川 へえ。

遠藤 北海道と沖縄のイトコ取りなの？

宇野 さあ、なんか、すごいジェットコースターとかありますけどね。

長谷川 それはイトコ取りってことにならないでしょ。

宇野 でも、プールもあるし、宏美先輩のハイレグは活躍しますね。

遠藤 買ってないでしょ、結局。

長谷川、そのことを思い出して、

長谷川 そうだよ、ロミ。そうやって先走って水着買いに行ったりすんのやめてよね。

遠藤 だから買ってないって。

長谷川 何なの今時ハイレグって。どういつつもり？

遠藤 冗談に決まってるじゃん。

宇野 試着までしたくせに。

遠藤 させたのカナコでしょ。しかも競泳用。

宇野 宏美先輩だってノリノリだったじゃん。

遠藤 誰が。

長谷川 はいはい。そりゃロミはさ、スレンダーボディの持ち主でさ、ハイレグとかピキニとか…そういうの楽しいかもしれないけどさ、
(言葉を選んで) ふくよかな女性の身にもなってよね。

遠藤 何？ ひがみで沖縄拒否してるわけ？

長谷川 違います。絶対北海道の方が満足度高いんだから。

遠藤 沖縄の方が解放的な感じでいいじゃん。「夏を先取り」みたいな。

長谷川 放つといっても暑苦しい夏は来るでしょ。わざわざこっちから行く必要ないって。

宇野 宏美先輩、提案！

遠藤 え？

宇野 私も旅行連れてってくれたら沖縄派につきますよ。

長谷川 は？ 何言ってるの？ 私たち四人の卒業旅行なんだよ。

宇野 それはわかってますけど。どうですか、宏美先輩。

長谷川 ダメに決まってるでしょ。

遠藤 バト部のことだってウヤムヤになってるのに。

宇野 その件に関しても、沖縄の海を見ながら話しましょうよ。ウミウシと共に。

長谷川 やめてよ。沖縄行くくらいだったらナガシマスパーランドの方がマシだって。

遠藤 そんなことないでしょ。

長谷川 海なんか絶対嫌。

遠藤 別に海メインなんて言っていないじゃん。まだ3月だし。

長谷川 ダメ。私はナガシマでジェットコースター乗るんだから！

遠藤 ハセドン、北海道じゃないの？

長谷川 北海道だよ！

そこに、悲鳴を上げながら部屋に戻ってくる岡山。

みんな、注目。

岡山 キー！

長谷川 どうしたの？

岡山 トイレに、トイレに。

長谷川 何？

小倉が後を追って部屋へ。

遠藤 まゆみ。

小倉 (岡山に) 連れて逃げてよ。

岡山 ついておいでよ。

長谷川 何があったのって。

小倉 さっきのジジイが。

長谷川 「さっきのジジイ」って、あの先生？

岡山 女子便周辺でウロウロしてて、超気持ち悪かった。

長谷川 何それ。犯罪じゃんか。

遠藤 ただウロついてただけでしょ。うちの顧問のことそんな風に言わないですよ。

岡山 だって。

長谷川 なんでロミはあいつのことかばうわけ？

岡山 怪しい。

長谷川 怪しいことはないだろうけど。

遠藤 ああ見えて、いい先生なんだって。

小倉 どこが？

宇野 ていうか、宏美先輩だけですよ、クマセン弁護してんの。

遠藤 カナコも三年なったらわかるよ。いろいろ相談乗ってくれるんだから。

宇野 でもビデオには撮られるんですよ？

遠藤 まあ。

宇野 それが嫌なんですよ。

遠藤 レンズを通さないとコミュニケーション取れないんだよ、あの先生。ああやって他人の心覗いてるんだって。

小倉 断然気持ち悪いよ、それは。

長谷川 なんであんなのが教師してんのよ。

遠藤 放つといてやってよ。誰だって多かれ少なかれ何かしら現代病抱えてるんだから。

長谷川 何、その寛大な心は。何かもらってるの？

遠藤 心の病なんだよ。

長谷川 あれのどこが心の病なのよ。

岡山 あんな心じゃ第二ボタン腐っちゃうよ。

小倉 あげる相手がいないって。

宇野 (遠藤以外に) ね？ わかるでしょ。バト部辞めたいの。

岡山 わかる。

宇野 でしょ？ 宏美先輩、普通の目でみたらそつなんですよ。

遠藤 もつわかったよ。バト部の話は沖縄でするからいいよ。今日は分が悪い。

長谷川 沖縄じゃないって。

宇野 連れてってくれるんですか？

長谷川 連れてかない！

宇野 宏美先輩の許可を得ました。

長谷川 宏美。

岡山 何、どういう話になってんの？

長谷川 (宏美に) また厄介なのが一人増えたじゃんか。

そこに、熊沢が入ってくる。もちろんビデオを持って。

いち早く気づいた岡山。

岡山 キャー！

つられて、それぞれ悲鳴。

遠藤 悲鳴とか失礼だから。

熊沢 バッテリー換えてきた。

遠藤 報告しなくていいです。

熊沢 遠藤、先生帰るな。

遠藤 え？ ミーティングは？

宇野 ミーティングは沖縄で。

熊沢 先生、一年一人ひとりの家回って説得してみる。

遠藤 ああ。

宇野 逆効果だって絶対。

遠藤 私も一緒に行きましようか？

長谷川 ロミは卒業旅行のミーティングでしょ。

熊沢 これは顧問の仕事だ。先生ひとりでやってみる。

遠藤 先生。

熊沢 車で回ればすぐだしな。

遠藤 ……せめて、ビデオは置いていってくださいよ。

熊沢 なんで？

遠藤 「なんで」じゃない。

熊沢 なんで迷ってるのか。何を迷ってるのか。表情を録画して分析するんだよ。

遠藤 やめなってそーいうの。

熊沢 子どもたちが「今、何をしたいのか」を迷う瞬間も青春の1ページだからな。

長谷川 いや、もう原因わかってんじゃない。(ビデオのこと)

熊沢 行ってくる。

遠藤 先生。

熊沢 行きかけて、

熊沢 ああ、卒業旅行、気をつけてな。

遠藤 あ、はい。

熊沢 最高の思い出つくってこいよ。

遠藤 はい。

熊沢 意気揚々と出かけてしまった。

岡山 はじめて先生らしい発言した。

遠藤 ほら。ジジイもいいところあるでしょ？

長谷川 「ほら。ジジイも」？…ホラ・ジジイ・コ！

小倉 洞爺湖でしょ。

長谷川 ほら！ ジジイも北海道すすめてくれてるんだよ。

遠藤 強引過ぎるって。

長谷川 うるさい。

岡山 ナガシマス・パーランド説はどうなったの？

長谷川 そんな説は却下！

岡山 ええ。

長谷川 ねえ、どうしたらみんな北海道行く気になってくれるの？

小倉 「どうしたら」って。

遠藤 …旅費全額もってくれるとか。

長谷川 何それ。

遠藤 いや「どっしたら」って聞くから。

長谷川 そんなに北海道行きたくないわけ？

遠藤 同じお金出すなら行きたいと行きたい、ってただけけど。

宇野 私もそんなにバイトの給料多くないしな。

長谷川 だからあんた関係ないってば。

岡山 でもお金の問題はちよつとあるよね。

長谷川 じゃあさ、私車出すよ。お父さんに借りて。高速代とかみんなで割れば安く行けるし。

岡山 まだ免許取ってないでしょ。

長谷川 もう仮免だもん。間に合わせるよ。

遠藤 嫌だつて。死にたくない。

長谷川 なんて死ぬのよ。

岡山 ニュースでよく見るパターンだね。卒業旅行中、交通事故で死亡。

長谷川 そんなに信用ない？

遠藤 ない。

宇野 だいたい親が許してくれないんじゃないですか。

岡山 絶対車貸してくれないよね。

長谷川 あ！

岡山 何？

長谷川 さっき、先生車で行くって言ってたよね、

遠藤 だから何？

長谷川 借りようよ。先生に。

遠藤 無理に決まってんじゃないん。

長谷川 思い立ったが吉日！ ちよつと交渉してくる！

と、走って出ていく。

遠藤 ちよつとハセトン！

岡山 行動力はすごいよね。

遠藤 勝手なんだから。

宇野　今のうちにある程度決めちゃうってのはどうですか？　沖縄の方向で。

遠藤　決めれるけど、結局ハセドンをやっ説得するかってことだね。

まゆみがまた出て行くとしている。

岡山　まゆみ。

小倉　トイレ。さっき行けなかったし。

岡山　またハセドンに怒られるよ。

遠藤　ちゃんと戻ってきなよ。

小倉　カバン置いてくよ。

と出て行く。

遠藤　結局まゆみの行きたいところもはっきりしないんだよね。

岡山　渡し舟とは言ってたけどね。

遠藤　あんなの絶対本気で言っていないよ、まゆみ。

宇野　問題はハセドン先輩ですよ。あんな頑固な人見たことない。

遠藤　説得とか効かないよね、正直。

宇野　ナハナハ攻撃するしかないんじゃないですか。

遠藤　何それ。

宇野　こうですよ。ナハナハナハナハ…

遠藤、真似して、

遠藤　ナハナハナハナハ…

宇野　ジュンちゃん先輩も。

岡山　私も？

宇野　はい。

岡山　ナハナハナハナハ…

三人、ナハナハの大合唱。

【12】

舞台は、高速のパーキングエリア。

三人に突っ込んでくる長谷川。

そのまま車に乗り込んだ格好となり、

長谷川　もう、キー……！

と、急ブレーキを踏む。

長谷川　休憩！

岡山　うええ。

遠藤　もう、急ブレーキやめてよ。

宇野　運転危な過ぎますって。

遠藤　先生の車なんだから。

長谷川　はい。あんたたちの顧問のおかげで晴れて車で卒業旅行に来れたことは感謝しております。でも、運転は私しかできないのだ！

テンションが高い長谷川。

遠藤　だから止めようって言ったのに。

宇野　まゆみ先輩正解だよ。

長谷川　ほら、ごちやごちや言っていないでトイレ休憩。次のパーキングまでだいぶあるからね。

遠藤　ジュンちゃん、吐いてきたら？

岡山　もう吐くもんじゃない。

宇野　鬼太郎袋大活躍でしたもんね。

長谷川　ほい、カナコちゃんは我々のジュースを買ってくる。

宇野　ええ！　なんで。

長谷川　連れて来てあげたんだから、そんなくらいパシリなさい。

宇野　もう。何がいいんですか。

長谷川 カナコちゃんのセンスに任せる。

宇野 じゃあ、おしるこですね。

と、いたずらに言い残し、走っていく。

長谷川 ちょっと！ 卒業旅行におしるこは似合わないでしょ！

と、宇野を追いかける。

遠藤 元気だなあ、ハセテン。

岡山 うう。

遠藤 辛い？

岡山 大丈夫。お守り持ってるし。

と、チヨロマツくんの第二ボタンをポケットから取り出す。

遠藤 ああ。

岡山 ロミさ、さっき船の上でなんか言ってた？

遠藤 え？

岡山 チヨロマツくんが勘違いしてるのか。

遠藤 ああ。

遠藤 ちょっと悩むが、思い切って携帯を取り出し、メールの画面を開き、岡山に渡す。

岡山 え？

遠藤 メール履歴見て。

岡山 え？（と、画面を見る）チヨロマツくんばかりじゃん。

遠藤 中読んでいいよ。

岡山、メールの内容も読む。

岡山 何？ 何これ？ なんでロミがチョロマツくんにごデート誘われてんの？

遠藤 チョロマツくん、私が第二ボタンもらいたかったって思ってるみたい。

岡山 え。私から頼まれたって言うてくれなかったの？

遠藤 言っただけど、全然聞いてないっていうか。なんか「遠藤から言われるとは思ってなかった」とか言っただけで舞い上がってる感じだったし。

岡山 そんな。

遠藤 もう私鬱陶しいからさ、メールとか返してないんだけど。

岡山 ええ。どうしたらいいの？

遠藤 わかんないよ。とりあえず私はボタンもらってあげたし、アフターケアはジュンちゃんの方でお願い。

岡山 そんな無責任だよ。

遠藤 ここから先は自分で切り開いて。

岡山 余計ややこしくなってるじゃん。

遠藤 ゴメン。私もう無理。他人の色恋沙汰は面倒くさい。

岡山 ひどいよロミ。

遠藤 苦しくなって、

遠藤 ナハナハナハナハ…

岡山 やめてよ。

宇野が戻って、参戦。

遠藤・宇野 ナハナハナハナハ…

岡山、対抗して、

岡山 ナハナハナハナハ…

再び三人で大合唱。

【13】

もう何度目か、部屋にて。

ナハナハコールも終息。遠藤、ため息をひとつ入れて

遠藤 これで納得してくれたら楽なんだけどね。

岡山 変な催眠術みたいで気持ち悪いよ。

宇野 もう北海道で沖縄っぽいところ探します？

遠藤 そんなないでしょ。

岡山 適当言い過ぎ。

長谷川が戻る。

長谷川 ダメだ。逃げられた。

岡山 あ お帰り。

長谷川 ああ、ちくしょう。

遠藤 どちらにしろ借りられないって。

宇野 もう沖縄が北海道に絞ってさっさと決めましょつよ。

長谷川 だからカナコちゃんは関係ないでしょ。

遠藤 時間的にも学校出なきゃ。

長谷川 わかってるよ。あれ、まゆみは？

岡山 トイレ。

長谷川 また？

屋上（櫓）に小倉。

小倉 「人生に固有の意味とか目的なんかない」みたいな、そんな哲学の話じゃなくて、そんな無力感を訴えてるんじゃないで。

もっとジワーッと生きていきたい。「いつの間にか空の色が変わってる」みたいに生きていきたい。

一方 部屋。

宇野　　どんだけ長いウンコしてるんでしょっね。

長谷川　ジワーっとしてんでしょ。

岡山　　違っと思っけど。

長谷川　もう。日も落ちてきてんのに。

と、窓の方を見て。

岡山　　あ、本当だ。いつの間。

遠藤　　でもだいたい日が長くなってきたわね。

長谷川　うん。

宇野　　なんか春の夕暮れって力抜けますよね。昼間の活力奪われる感じで。

しばし、夕暮れに見とれる。

そこに小倉が戻る。

小倉　　もう終わったの？　話し合い。

みんな小倉に視線。

長谷川　ちょっと！　感慨にふけってる場合じゃないでしょ！　決めなきゃ！

岡山　　ああ。

長谷川　北海道VS沖縄！

と、遠藤に向かって構える。

小倉　　話一向に進んでないじゃん。

岡山　　まゆみが度々抜けるからでしょ。

小倉　　決めてくれていいのに。

宇野　　宏美先輩がんばってくださいね。

遠藤 わかってる。沖縄の海に代わるものはなし！

と、長谷川の構えに対する。

長谷川 北海道で海鮮丼食べる！

岡山 ナガシマで温泉に入る！

と、岡山も構えてみる。

長谷川、遠藤、構えを解いて岡山を押しどかす。

岡山 なんでも？

長谷川 ナガシマはなし。

岡山 そんな。（小倉に）ナガシマいいと思わない？

小倉 うーん、どうでしょう。（長島監督で）

みんな、小倉に注目。

遠藤 長島監督？

小倉 似てた？

遠藤 微妙にもほどがある。

岡山 ナガシマだったらジャンボ海水プールもあるし、海の幸だってあるんだよ。

長谷川 ジュン！ おめえの考えは浅はかなんだよ、ジュン！（田中邦衛で）

遠藤 ものまねオンパレードしないで。

宇野 決める気あるんですか、先輩たち。

長谷川 あるよ。北海道だよ。小樽に決まってんじゃねーか。（懲りずに田中邦衛で）

小倉 うーん、どうでしょう。（懲りずに長島監督で）

遠藤 私たまにまゆみがわかんない。

長谷川 もう多数決。沖縄2、北海道2ってことで、後はまゆみの一票で決めよ。

遠藤 ハセトンとしては建設的な意見じゃん。

長谷川 ただし、カナコちゃんは二年なので、0・5票とします。

遠藤 何それ。

岡山 ていうか、なんで私、北海道に入ってるの？

長谷川 ジュン、おめえは富良野に帰ってこい。(つつく田中邦衛で

遠藤 封建的い。

岡山 じゃあ私も気持ち的には0・5票で。

長谷川 ジュンちゃん。

遠藤 ほら、まゆみにかかっているよ。

小倉 ええ。

宇野 責任重大ですよ。

長谷川 「矢切の渡し」はなしだからね。

小倉 うーん。

遠藤 言いつらかったら紙に書くとかでもいいし。

長谷川 そうだよ。正に投票っぽく。

遠藤 紙、どっかにあったでしょ。

と、用具入れを覗いたり。

小倉 窓の方になんとなしに歩いていき、

岡山 まゆみ？

長谷川 待って、紙に書かそう。その方がおもしろい。ロミ。

遠藤 ないよ、紙。

長谷川 ええ。じゃあ、カナコちゃんさっき頼んでた紙は？

宇野 ここで必要だったんですか？

遠藤 もう時間ないし、口頭で。

長谷川 うん、じゃあ、まゆみ。言ってみよう！ セーの、

長谷川は「北海道」、遠藤・宇野は「沖縄」、小倉は「行きたくない」と同時に言った。

岡山 え？

長谷川 どっちって？

小倉 私、別に行きたくない。

四人、絶句。

遠藤・長谷川・岡山・宇野 え？

小倉 いや、行きたくないって言うか、行っても行かなくても同じって言うか。

長谷川 え、何言ってるの？ 意味わかんない。

遠藤 まだだよ。まゆみのアンニユイ発言。

岡山 まゆみ。

小倉 だって、こっやって喋ってる場所が変わるだけでしょ。

長谷川 違っよ。北海道の雄大な景色を見て、「スゴイね」とか、「いい思い出だね」とかいろいろ新しい発見があるじゃんか。

小倉 新しい発見って言ったって、北海道の景色とかって想像つくもん。テレビとかでよく見るし。

長谷川 もう、デジタル世代の申し子！ 何なのまゆみは本当。何様気取り？

小倉 殿様？

長谷川 面白くない！

(この辺りで熊沢がビデオを持って櫓の上に登場)

小倉 みんな行きたいとこ違っんだから、ドンキーとかで3日ぐらい喋り続けようよ。

遠藤 なんで。4月からバラバラなんだよ。最後に大きい思い出作らないと。

長谷川 そうだよ。

小倉 旅行したくらいじゃ一緒だって。

長谷川 何が一緒なの？

小倉 わかるもん、なんとなく。

遠藤 いいじゃんそれならそれで。同じ時間と場所を共有することに意味があるんだから。

小倉 だからドンキーで。

遠藤 なんでそうやってまゆみは輪を乱すわけ？

小倉 輪って何？

遠藤 輪じゃんか、四人の。

小倉 四角じゃん。

と、四人の位置関係を指して。

遠藤 屁理屈言わない。

小倉 四角なんだよ。4つの角はそれぞれの方角に向いてるんだから。

長谷川 また難しいこと言って私たちを混乱させよとして。

小倉 五角形になったって六角形になったって、結局は角の集まりなんだし。

岡山 でも、それぞれの方角に行かないように辺が結び付けてくれるわけじゃん。それが輪じゃん。

小倉 ヌルイよ、言ってることが。

岡山 え。

小倉 輪になんかなって足並み揃えたって意味ないんだから。もっと、自分の角を尖らせていかないと。

長谷川 何の説教よ。

遠藤 まゆみは一人尖り過ぎだよ。ヤジリみたいに、まゆみの角だけ人を刺せるくらい尖ってるんだよ。

小倉 ヲヤジリの 私（矢切の 渡し）

遠藤 こまかさないですよ。

小倉 全然ヤジリじゃないよ、私なんか。自分の向いてる方角に尖らせたいけど、どうしたらいいかわかんないもん。

宇野 もついいじゃないですか。そういう気が滅入る話なんか沖縄の海を見てたら吹っ飛びますって。

長谷川 違つよ。自分探しの旅なら北海道が一番だよ。

小倉 話さないですよ。

長谷川 話さえてんのまゆみでしょ。そんなつまらない話聞きたくないよ。

小倉 なんかわかんないの？ ハセドンとかって何を見てんの？ 先に何が覚えてんの？

長谷川 何も覚えてないよ、そんなの。みんなさうだよ。でも今覚えてるものを楽しむしかないじゃん。その積み重ねで道を作っていくんですよ。

小倉 そんな不安定なことしたら道なんかめっちゃくちゃじゃん。迷路じゃんか。

学校のチャイムが鳴る。何時を告げるチャイムか。

チャイムの鳴り終わりまで沈黙。

岡山が切り出す。

岡山 ぽつぽつする。紙職員室からもらってきて投票する。

遠藤 そついう空気じゃなくなったけどね。

長谷川 ジュンちゃん号、紙もらってきて。

遠藤 え？

長谷川 ロミ覚悟！ 北海道VS沖縄！

と、遠藤に向かって構える。

遠藤 ハセドン？

長谷川 もう永遠にやろうこのやり取り。バカみたいにやってたら何か見えてくるよ。

小倉はこの光景をただ見つめている。

宇野 じゃあ私が沖縄代表で！

と、ラケットを持つ。

長谷川 来たな、妖怪ワミウシ！

宇野 喰らえ！ ハイレグスマッシュ！

と、シャトルを打ち込むフリ。

長谷川 めお！

宇野 ハイレグ！ ハイレグ！ ハイレグ！

長谷川 イクラマシガン。プチプチプチ！

と、ラケットを機関銃のように持ち、卵を発射するフリ。

宇野 めお！

岡山 じゃあ私紙取ってくる。

遠藤 ジュンちゃん！

と、出て行くとしたところ、突如、熊沢。

熊沢 紙ならどこにあるぞ！

と、何枚もの紙をばら撒く。

と同時に、前面のスクリーンが降りる。

映し出される彼女たちの迷路。これから彼女たちが進むルート。

迷路の中をさまよう彼女ら。

スクリーンが振り落とされ、迷路のゴール地点に立つ五人。

まゆみ以外の四人。

四人 ジワ〜っとなって生きていけない。空の色が変わっていくような、そんな曖昧な時間を過ごすなんてもったいない。私たちはこれから複雑な迷路を解いていかなきゃいけないんだから。なんだかわかんないけど、前向きに、前向きに卒業していきます。

小倉 卒業生総代 三年一組 小倉真弓。

と、今はとりあえず前向きな宣言を試みる。

でも、明日のルート選びによっては、この前向きな発言がどう転ぶかわんてわからない。

前を向いたり、後ろを向いたりして生きていくのだから。

そして、五人は、また迷路の中に戻っていく。

溶暗していく中、

熊沢 おーい、ピースしろ！

平和に生きていけたらいいんだけど。

おしまい